

さぬき

第 19 号

2009年 8月 1日発行

発行者

社会福祉法人 弘善会

児童養護施設 讃岐学園



毎年のことですが、2月から3月にかけて子どもたちに落ち着きがなくなります。些細なことから口論がはじまったり、職員との話ができなくなったり、学園がザワザワとした雰囲気になります。

原因はひとつ、3月には家へ帰れるのだろうかという「期待と不安」のなかでの生活が続くからです。

2月から、小学生と話し合いをはじめました。そんな中、「学園でどんな生活がしたいか。」聞いてみました。

なかなか、返事が返ってきません。「学園での生活」について聞かれるとは思っていなかったのです。「どんな生活がしたいのか。」と聞かれたかったのです。学園での生活が3年にならない3年生の女の子は「元の普通の生活」と答えました。

それでも、「まだ、学園で生活するとしたら」と聞くと、「自由で楽しい生活」がかえってきました。

「自由で楽しい生活」をおくるためにはどうしたらよいか書いてもらいました。

学園での生活が5年余りの1年生の女の子は、「もっとテレビやゲームで遊ぶ時間を増やして欲しい。そのためには、一人一人が気をつけて過ごせばよい。」と書いてきました。

集団生活の中で、画一的になりがちな毎日に「制約と負担」を感じていることを改めて知らされました。

そして、子どもたちの「自由で楽しい生活」は、やはり、「もとの普通の生活」です。

子どもたちの負担を軽くして、元の普通の生活に近づけるために、「おもいやりとやさしさ」で向きあうことを職員一同再確認しました。

園長 土釜 一

幼児寮では、これまでは子どもたちひとりひとりに担当職員が決まっていたのですが、二十一年度からは複数担当制に変更しました。

幼児寮を大きく二つのグループに分けて、そのグループを2名と3名の職員で見えています。常に一緒の空間で生活をし、その日の宿直、早出、保育担当者が各自の業務をこなして子どもとも関わる点は、今までと変わらないのですが、担当職員ひとりだけがその子について詳しく知っているのではなく、同じグループの様々な価値観を持つ複数の職員が子どもを見ることで、より良い処遇ができるのではないかと考えています。かなり前には、担当職員の前では良い子でいるのに、他の職員の前では全く違った面を見せる子もいましたが、その落差も少なくできるのではないかと思います。

ところで、毎年春に行われる「カッパ座」の人形劇をご存知でしょうか。その人形劇が始まる前に行われるのが、「やくそくまもろう」「なかよくしよう」「あいさつしよう」の合言葉の全員での唱和です。劇が終わった後にも、その言葉は結構耳に残っているのですが、幼児寮でも、子どもたちが守れていない約束ごとを大きく掲示し、それを一日一回みんなで声に出して読んでいます。毎日毎日、口をすっぱくして注意をしてもできないのが、玩具の片付けや友だちと仲良くすることなのですが、この「おやくそく」が、一年後には少しでも定着して改善していればと思います。

幼児寮主任 小原 敬 山花

小学生は二十八名と大人数。いかに落ち着いたくつる空間を作るか、ゆっくりと安らげる雰囲気を作るか、どのように子どもたちと時間を共有するかが課題です。ゆっくりとそこに「いる」という雰囲気をかもしだしたいなあ。いつも必要なときにはそこにいて助けが得られると思ってもらいたいなあ。思っています。外出してもこの人数ですから、ゆっくりとするなんてことはなかなか出来ません。しかし、子どもたちは「今日はゆっくりできたわ。楽しかったわ。」と言ってくれます。些細なことでも喜んでくれる子どもたちに感謝です。

年度末になるとお家へ帰れるかもしれないと期待をする子どもも

多くいます。希望が叶う子もいればそうでない子もいます。努力してもどうにもならないこともあるんだと悟り、乗り越えていかなければなりません。この作業は子どもも私たち職員も大変つらいことです。願いや夢は叶えるためにあるんだよ話をしています。小

学生にして、現実とはそんなに甘くない・簡単なものではないと学んでいかなければなりません。私たちに怒りや不満をぶつけてくる子どももいます。だんだんと自分の不安や欲求不満にうまく対処する術を身につけていってほしいと思います。やっとなお互いの異質性を認め合い、その違いを超えて理解しあおうとする雰囲気が存在してきました。日々の自治会も自由で楽しい生活(「自由」)にする会通称F.E.会と名づけみんなが振り返る時間をもっています。

選択の時代に生きる子どもたちは、ある意味大変です。選択の自由とともに責任が伴うということを知ってほしいと思います。また、たくさんの人とかかわる中で様々な生き方があるんだなと知り、一人ひとりが輝いた人生を歩んでいってほしいと願っています。

小学生担当主任 六車 由佳

私たち中学生担当職員は、子どもと職員で調理の練習をしたり、中学生には学習方法の指導、高校生には社会勉強としてアルバイトができるよう、そのための指導をするといったこと等を具体的な支援のひとつとして行っています。また、子どもの自立のための新たな実践を模索中です。

ただ、これらは自立のための「準備」であって、もっと「支援」していかなくてはいけないのは子どもの「心の育ち」の部分だと思っています。自立前の子どもは言葉、まだ十代。大人の助けが欲しい、甘えたい部分はたくさんあるはずで、良くも悪くもその全てを私たちは受け入れて関わらなくてはなりません。しかし日々の関わりの中で私たちは、どうしても叱り役をすることが多くなります。特に厳しい経験をしてきた子どもには、叱る厳しさの裏にある愛情が伝わりにくくなっている気もしていて、難しいなというのが本音です。ですが今この子たちに職員として、何が必要で何ができるかは常に考え、職員同士連携して子どもたちを支えていけるよう、今後も努

力したいと思っています。

中学生担当主任 野瀬 由華

家庭的な雰囲気の中で個別な関係を築きながら日々子どもたちと楽しく生活しようという心がけていますが、家庭的といっても人それぞれ思い描いた家庭などもあり難しさもあります。家庭の温かさを伝えるのも大切ですが、最近の子どもは食べることに関する環境が大きく変化しています。食べ物を通して何かできないかと自分なりに考え子どもたちに支援しています。食べ物に関しては好き嫌いは誰にでもあるし美味しい物を食べたいという気持ちは誰でも持っていると思います。調理方法に始まり野菜の種類、素材の味、旬な物といった食を通して教えられる事は沢山ありますし、苦手な食材をどう料理するかによって子どもたちの食べる量にも変化があります。みんなが美味しい物を食べるときには笑顔が増え、また、食べる事により新たな発見もあり子どもの成長に応じた食事も必要です。それから、日常生活における父親的役割がどう関与するかということと、基本的な生活への適応等に関する支援が今後の大きな課題でもあります。

小規模グループ寮 岡村 聡

学習ボランティア



讃岐学園では沢山の学習ボランティアの方の御協力をいただいています。子どもたちも自分たちの学習日を楽しみにしています。



みんなのゆめ



N. I年長



C. R年長



R・K

サッカーせんしゅになってシュートをきめたいです。キーパーになったらとめたいです。あいてにとられたらまたとりかえたいです。サッカーせんしゅになったらけがしないように、れんしゅうをたくさんがんばります。

A・T

わたしは、大きくなったらかごしになりたいです。かごしになって病気の人を助けてあげたいです。それに人にやさしくしてあげたいです。なぜわたしがかごしになりたいかという、人にいいことをすると、気持ちがスッキリするからです。もしかごしになれたら、かんじゃさんがおちこまないでニコニコ笑ってくれる楽しい病いにしたいです。もう少し大きくなったら、べんきょうをたくさんして、かごしになれるようにします。

Y・T

ぼくは、もう一度世界貿易センターのようなビルを建てて世界一の社長になりたいです。なぜかという、同時多発テロのことを知って、こんなビルがまた建てられてほしいと思ったからです。だから大人になったら日本の貿易ビルの社長になって、これ以上の高さのビルを建てて、日本を貿易の国にしたいです。あと世界中をとびまわって、日本の食糧をちょっとだけ分けてあげて、お金も寄ふをして世界中を平和にしたいです。そして、世界中の人々に、日本はすばらしい国だとみとめてもらいたいです。そして地球は一生戦争のないすばらしい星になってほしいと思います。

S・H

私の将来の夢は動物関係の仕事につくことです。小さいときから犬やうさぎやハムスターを飼ってきました。その時は死んでしまったら次の犬・・・と命を簡単に扱っていました。でも今では、動物の命も人間の命と同じだけ大切だと知りました。動物を世話することの大変さや、喜びをもっとたくさん分かっていきたいと思って動物とふれあう仕事につきたいと思いました。今は動物の特徴くらいしか知らないで、もう少し大きくなったら病気の処置とか食べ物についてもっと知っていきたいです。そして、小さいときの自分と同じようなことをしている人たちに、動物の命の大切さを分かっていってもらえるように、自分はしっかりした人になりたいです。

O・A

私は父の方のおばあちゃん家で育ちました。その時はすごくしあわせでした。そして、新しい家でとても楽しく暮らしていました。ですが、わたしが小学校一年のときからでした。父が母に暴力をふり始めたのです。その時のわたしは泣いているだけでせいっぱいでした。

12月1日、私は讃岐学園にやってきました。私は、初日そうそう、人のものをもってしまいました・・・私はそれでいじめられる原因を作ったと思い、私はバカだと思いました。

でも、少し日がたつとみんなとても仲良くしてくれました。とてもうれしかった。新しい中学校にはすぐになれた。今までになかったような楽しさだった。そんな日もすぐになつてしまい、卒業式になってしまった。



地域の方々にお世話になりました

一日園長先生行事



株式会社タダノの方が、科学を使った遊びを教えてくださいました。ふだん体験できないようなことをしたり、聞けない話が聞けてうれしかったです。

バレーボール



とてもしたかったバレーができて良かったです。

小学寮の土曜講座のようす



地域の友だちと色々な活動ができました。毎回楽しみにしています。

奉仕活動



地域のために自分たちができることをしています。

ボランティア活動



香色苑にいくのはたのしいな。みなさんいつもありがとう。

草抜きは大変だけど、きれいになって気持ちよかったです。

学園祭



みんなで力をあわせていい学園祭ができました！！

地域交流会



足浴がたのしかった。ジャブジャブしておもしろかったよ。

子どもたちや保護者の方から要望・意見（苦情）がありました

讃岐学園では、学園生活をよりよくするため、「苦情解決制度」を活用しています。制度を子どもたち・保護者に周知するとともに、苦情箱を寮玄関などに設置しています。施設・職員へ要望意見を気軽に申し出て、話し合いのうえ解決に努めました。
また、平成21年度は、第三者委員として弁護士、大学の先生の2名にお願いしています。

平成21年度の要望・意見の内容

申出者	内 容	結 果
児童 (女)	一部男子児童の性的な会話などが気になる。	「命の源」としての正しい性の知識を学齢・年齢に応じて外部講師を招くなど学習し、男子児童を指導して解決。
	殴られるなど。	事実確認のうえ、加害児童を厳しく指導して謝罪することなどで解決。
児童(男女) 保護者(母)	悪口、嫌なことを言われたり、いじめられる。	事実確認のうえ、園長が厳しく注意・指導。子どもどうして話合ったり、子ども、保護者に謝罪して解決。
児童 (男)	遠足に小遣いを持たせてくれなかった。 (小学校教諭から連絡)	本人が小遣いをいらぬと言うので持たせなかったら、遊具に乗るお金がなかったので、職員が持たせてくれなかったと先生に話してお金を借りたことが判明したので、小遣いの持ち方など児童と話し合い解決。(子どもへの配慮を再認識)
保護者 (母)	児童と面会させてもらえず、児童の居室も見せてくれない。(児相から連絡)	児相職員立会いのもと事実確認をしたが、申立の事実は存在しないことを保護者に確認して解決。
	子どもが用事を頼んでもとりあってくれない。	他児のトラブルの対応をしていたため、すぐにできなかったことを説明し、子どもへの配慮の足りなさを謝罪して解決。
(父)	買い与えたシャープペンシルを貸したが返してもらっていない。	事実確認のうえ、厳しく指導して、謝罪のうえシャープペンシルを返して解決。

事故にあったりけがをしたりしました。

交通事故	自転車通学途中に軽自動車と接触転倒しましたが、かすり傷程度ですみました。
遊戯中の負傷	遊戯中に転倒などして負傷しましたが、軽症でした。
暴力・けんか	ほぼ一方的に暴力を振るうことがありました。 また、ふざけあいなどからけんかになりました。
設備・備品物損	室内でボール遊びをしていて時計を破損しました。
暴言など	食堂で遊んでいるのを注意した職員に暴言のうえ暴力がありました。

交通事故、遊戯中の負傷などについて、毎日の話し合いの会で、職員と一緒に考え、事故・けがのない安全な生活についてよく話し合いました。また、職員は、子どもたちの行動にさらに注意するよう心がけました。暴力・けんか、物損などは、決してあってはなりません。相手の気持ちを考える、人を大切に、ものを大事にすることを、繰り返し職員と一緒に考え、行動するようにしています。

香川県の指導監査を受けました。(平成20年11月5日実施)
「文書指摘により改善を要すべき事項」はありませんでした。

給食委員会を開催しています。

毎日の食事を楽しくおいしいものにするために、子どもの代表と栄養士、職員の代表が、毎月1回給食委員会を開催して、献立について要望・意見をだしたり、食育を行っています。

多くの方々のご厚志に深く感謝いたします。

順不同・敬称略

<招待>

徳田恒光、高松空港ライオンズクラブ、徳本山菩提寺、仲南愛の会、三菱東京UFJ銀行、春色苑、弘恩苑、(株)タグノ企画管理部、法寿苑、(株)松本光春商店、(財)高松市文化芸術財団、庵治漁業協同組合さくら会、(社)アミューズメント連合会、高松市赤十字奉仕団、(株)イーグルハウス興行、めろんの会、高松東ライオンズクラブ、勝田輝美

<慰問>

香川県副知事、高松中央ライオンズクラブ、小豆島更正保護女性会、高瀬町更正保護女性会、ワールドメイト、前田東町本若獅子、香川県露店商業協同組合、

<寄付>

マルハン高松店、木村清隆、養生堂社会福祉事業財団、元木美穂、エムエイオオフィス、住谷幸江、ダリーズコーヒージャパン、大建アミューズメントDAZ高松中央店、松本茂、中国アイスクリーム協会、松浦店立軒、百十四銀行三木支店、香川銀行高田支店、佐藤秀男、タグノ、前田婦人会、三宅恭子、大浦ひとみ、岡野美千代、香川ビルメンテナンス協会、ソバハニ・ナヒド、旭商工、ふたば、栄光寺、市村裕子、柴田廣子、川田秀秋、松成一市、谷川尚之、兼若保、カワゾエ衣料センター、香川県労働者福祉協議会、小豆島更正保護女性会土庄支部、弘田正幸、百十四銀行個人営業部・金融業務部、堤裕子他同窓の方々、ときわ会、淵川朱美、山地青果、海部医院、信金中央金庫四国支店、小西フードセンター、木村医院、高瀬町更生保護女性会、安藤宏子、三井住友海上火災保険、全国シャンメリー共同組合、三菱東京UFJ銀行企画部CSR推進部、カープ木太・屋島・扇町・国分寺・松岡、公文教育研究会、ジャパンエナジーCSR推進部JOMO電話基金事務局、日本餅餅協会、新生銀行高松フィナンシャルセンター御一同、柴田征二、神原博、小川あつ、ニッコー高松中央店、門司一徹、フィリップモリスジャパン、山田信生・正江、高松市立吉高松中学校PTA、ピクチャーエンタテインメント、グラント商事・アドバンス、四国新聞社、高松青年会議所、ワールドメイト高松エリア本部、吉田考平、小原、サニタリー四国高松支店、西日本高速道路四国支社御一同、廣瀬石油、山地靖子、小山ハツエ、富田昌樹、中川郁子、片岡洋子、TresureOne、サンフローラ、鶴籠誠治、マキタ・リーガホテルピスト高松、NHK歳末たすけあい、三好智之、柴川佳生、創成社、宮本博子、豆芳、篠久依里、イーグルハウス興業、高松地区海苔養殖研究会、三谷佳子、真央タクシー、本藤貴樹、高松中央ライオンズクラブ、地方紙正月連合会関係、ほていや、高松信用金庫元山支店、青木淑郎、東新電機、東原商店、高松市立前田小学校、日本鯉のぼり協会、香川県軟式野球連盟学童部、特定非営利活動法人FIC安心とつながりのコミュニティづくりネットワーク、フジユニオン、大嶋裕一、横浜博萌会子どもの虹橋研修センター、第崎武典、香川県中小企業家同友会高松第8支部、香川彰志、四国明治乳業食品販売部、安倍三郎、読売光と愛の事業団郡司ひさる奨学生係、特定非営利活動法人エキスパート児童福祉支援協会、松本光春商店、小豆島国際ホテル御タグノ、野上鮮魚店、黒川商店、前田婦人会、日赤奉仕団前田分団、赤十字奉仕団川添分団、カワゾエ衣料センター、高松空港ライオンズクラブ、高橋國光、前田校区青少年健全育成連絡協議会、岩崎和義、旭商工株式会社、前田東町本若、香川県露店商業協同組合、小山良造、小豆島更正保護女性会、鮮魚 菅商店、高橋石油株式会社、山地青果、百十四銀行三木支店、前田婦人会 橋本せつ、伏見正範、高松中央ライオンズクラブ、朝日平成園、前田地区民生児童委員協議会、六車正武、平井一也、平井寿子、高田隆寛、山田信生、有限会社辻造船工所、インテンションエナジー・インターナショナル、坂出市民生児童委員協議会連合会、積水ハウス株式会社四国営業本部、宮宇地すみ子、前田校区連合自治会、陣内詔代、株式会社高松産業廃棄物センター、高松市赤十字奉仕団、北原貞夫、黒川敬三、堤裕子、漆原都子、岡三アセットマネジメント株式会社、大森繁、森一真、川田浩、香川県共同募金会高松支会、NHK歳末たすけあい運動、財団法人かがわ水と緑の財団(みどりの広場づくり事業)、讃岐学園後援会、

<ボランティア>

香川県理容生活衛生同業組合高松支部、香川ビルメンテナンス協会、庵治町小さな親切運動、JR四国社員、学習ボランティア

平成20年度事業活動収支計算書

平成20年4月1日 至 平成21年3月31日 (単位:円)

利用料収入	67,850
措置費収入	178,708,486
経常経費補助金収入	1,082,510
寄付金収入	3,320,023
雑収入	3,006,867
国庫補助金等特別積立金取崩額	7,893,232
事業活動収入計(1)	194,078,968
人件費支出	125,346,013
事務費支出	14,828,135
事業費支出	42,115,252
減価償却費	12,447,667
引当金繰入	1,057,775
事業活動支出計(2)	195,794,842
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	-1,715,874
事業活動外収入計(4)	3,999,009
事業活動外支出計(5)	2,340,155
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	1,658,854
経常収支差額(7)=(3)+(6)	-57,020
特別収入計(8)	0
特別支出計(9)	0
特別収支差額(10)=(8)-(9)	0
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	-57,020
前期繰越活動収支差額(12)	116,811,587
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	116,754,567

貸借対照表

平成21年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	
流動資産	32,218,977
基本財産	568,616,836
その他の固定資産	46,316,737
資産の部計	647,152,550
負債の部	
流動負債	4,726,958
固定負債	6,789,889
負債の部計	11,516,847
純資産の部	
基本金	324,686,000
国庫補助金等特別積立金	156,281,136
その他の積立金	37,914,000
次期繰越活動収支差額	116,754,567
純資産の部計	635,635,703
負債及び純資産の部合計	647,152,550

・香川県共同募金会

平成20年度(平成21年度使用)の助成金交付により、下記の物品を購入させていただきました。

- ① 厨房業務用冷凍庫(ショーケース)
- ② パイプ椅子(100脚)
- ③ IHクッキングヒーター(3台)

・NHK歳末たすけあい義援金よりデジタルハイビジョン液晶テレビの寄付をいただきました。

・香川県応援ファン

ファン運営会社の岡三アセットマネジメント株式会社よりトヨタ パッソ・セットの寄付を頂きました。
ありがとうございました。

讃岐学園ケアサービス案内

◆◆ショートステイ◆◆

(家庭養育支援事業)

保護者が、病気・出産・出張・事故などのために家庭で子どもを養育することが難しくなった場合、一時的にお子さんを保護し、養育します。



◆◆トワイライトステイ◆◆

(父子家庭等児童夜間養護事業)

父子家庭等で、お父さんが仕事のためにいつも帰宅が遅く子どもを養育するのが難しい場合、お仕事が終わるまでお子さんをお預かりし、生活指導や夕食の提供を行います。

<案内図>



地域の方々が気軽に利用できるサービスを提供したいと考えています。
各サービス事業について詳しく知りたい方は、お気軽にお電話ください。

◆◆母子緊急一時保護◆◆

緊急時お母さんとお子さんを一時保護します。



◆◆子育て相談◆◆

(児童育成相談事業)

当園は子どものお世話だけでなく、保育士・心理療法士等が地域の方々からの相談に応じています。子育てに関する悩み・不安など、お気軽にご相談ください。相談は無料です。予約制になっておりますので、まずはお電話にてご連絡ください。



<連絡先>

〒761-0322

香川県高松市前田東町569-2

児童養護施設 讃岐学園

TEL(087) 847-5171

FAX(087) 847-5173

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp/>

E-mail sanukigakuen@kouzenkai.jp

ボランティアのお願い

児童養護施設では、1歳から18歳までの子どもたちが生活しています。当園では、子どもたちと一緒に遊んだり、小・中・高校生に勉強を教えたりして下さる方を募集しています。関心のある方、子ども好きな方、ぜひご連絡ください。

編集後記

今年度は「しょうらいのゆめ」をテーマに取り上げました。

子どもたちの輝かしい未来を願って、職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

今後とも暖かいご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



今年の讃岐学園祭でフリーマーケットを企画しています。現在参加される方を募集中です。詳しくは担当(森下)までご連絡下さい。

募集中!! 週末ファミリーさん

親の入院や就労等の理由で、週末帰省のできない子どもたちがいます。

子どもたちを月1回程度外出や外泊等で受け入れて下さる方を求めています。

興味のある方、話だけでも聞いてみたい方、気軽に下記に問い合わせ下さい。

Tel 087-847-5171

担当 藤田(事務長)または斎藤まで